

金子兜太追悼事業

〈金子兜太生誕100周年記念〉

金子兜太 句碑めぐり バスツアー

利根川と
荒れの間
雷遊ボ
兜太

開催日

2019年

11月17日 日

11月24日 日

9:00~16:00
(予定)

定員 両日30名ずつ(要事前申込)

参加費 1,500円(昼食・保険代)

申込方法 往復はがき(抽選方式)

申込期日 9/1~9/20必着
はがき1枚につき2名様(代表者含む)まで可

お問い合わせ先:熊谷市教育委員会 社会教育課
TEL 048-524-1111(内線389)

主催:熊谷市教育委員会

解説

熊谷市教育委員会 社会教育課
江南文化財センター

山下祐樹
YAMASHITA YUKI

ツアー行程





金子兜太 (1919-2018)

大正8年(1919)9月23日に生まれる。秩父出身。旧制熊谷中学(現・埼玉県立熊谷高等学校)を経て、旧制水戸高等学校在学中に句作を始める。東京帝国大学経済学部を卒業後、日本銀行に入行。戦中は海軍としてトラック島(現在のミクロネシア連邦チューク諸島)に赴任。昭和37年(1962)、俳誌『海程』を創刊、後に主宰を務める。昭和42年(1967)、熊谷市に転居。昭和58年(1983)、現代俳句協会会長に就任。「朝日俳壇」選者などを務める。「紫綬褒章」を受章。「詩歌文学館賞」、「現代俳句大賞」、「蛇笏賞」、「日本芸術院賞」、「正岡子規国際俳句賞大賞」などを受賞。平成20年(2008)に文化功労者。翌年、熊谷市名誉市民に推挙。晩年には戦後一貫して現代俳句を牽引したことが評価され、「毎日芸術賞特別賞」、「菊池寛賞」、「朝日賞」などを受賞した。句集には『旅次抄録』『遊牧集』『猪羊集』『早春展墓』『詩経國風』『皆之』『両神』『東国抄』『日常』などがある。現代俳句の巨星として活躍を続ける中、平成30年(2018)2月20日に逝去された。

申込方法

往復はがきに参加希望者の住所、氏名、電話番号、希望日をご記入の上、熊谷市教育委員会社会教育課(熊谷市役所内)まで郵送でお申込みください。

往信面

郵便番号はがき 360-8601

熊谷市宮町二丁目四七番地一
熊谷市教育委員会
社会教育課
宛
句碑めぐりバスツアー

白紙

返信面

郵便番号はがき

参加希望者住所
参加希望者氏名

1. 電話番号

2. 希望日
(17日もしくは24日)

3. その他

抽選結果は10月中旬頃に発送いたします。